ASEAN 大使通信
第 34 回　東アジア首脳会議（EAS）20 周年に向けて

2025 年（令和 7 年）９月 30 日

模擬 EAS 参加者との朝食懇談会
（2025 年８月８日、於 ASEAN オーストラリア代表部大使公邸）

９月に入り、10 月末の ASEAN 関連首脳会議、特に本年 20 周年を迎える東アジア首脳会議（EAS）に向けての準備が本格化しています。９月 10 日にはマレーシアのポートディクソンでの準備会合出席のため出張し、後半にはジャカルタで、東南アジア友好協力条約（TAC）締約国会議と ASEAN＋３の大使級会合である ASEAN 常駐代表委員会（CPR）＋３に出席しました。EAS 成果文書交渉のための作業部会会合も対面やオンラインで連日開催されています。９月 15 日の週には、ASEAN 財団主催で初めての模擬 EAS がジャカルタで開催され、19 カ国からの参加者が一堂に会しました。

それと並行して、日 ASEAN 協力を推進する行事や会合も幅広い分野で開催されました。９月 16 日にバンコクで開催された日 ASEAN ビジネスと人権ネットワークセッションには、私もオンラインで参加してプレゼンを行いました。９月はマレーシア各地で環境・組織犯罪・経済分野の日 ASEAN 閣僚級会合が開催され、ASEAN 代表部から担当者が参加しました。

今回の大使通信では、９月の一連の行事を振り返りながら、特に EAS20 周年という機会の重要性について、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

紛争予防・危機管理・ASEAN 主導地域枠組みトラック１ワークショップ
（2025 年９月 10 日、於ポートディクソン）

●APT・EAS 準備 SOM と関連会合

９月８日から 11 日まで、ASEAN＋３（APT）・東アジア首脳会議（EAS）準備高級実務者会合（Prep-SOM）と関連会合に出席するため、マレーシアのクアラルンプール近くにあるポートディクソンに出張しました。日本からは鯰博行外務審議官が日本政府の高級実務者（SOM）として代表団長を務めました。

秋の ASEAN 関連首脳会議に向けて、１～２ヶ月前に議長国で準備 SOM が開催されることが慣例になっています。鯰外務審議官は９日に現地入りし、翌 10 日には APT と EAS の準備 SOM に出席して方向性するとともに、ASEAN を中心に各国 SOM とのバイ協議を行いました。首脳会議、外相会議と同様、このようなマルチの会議は効率的にバイ協議を行う貴重な機会です。

私は、鯰外務審議官が対応できない会合に出席して、日本の立場を発信しました。特に有意義と感じたのは、10 日午後にマレーシア・インドネシア・豪州が共催した「紛争予防・危機管理・ASEAN 主導地域枠組みトラック１ワークショップ」です。昨年２月と 12 月にジャカルタで開催されたトラック２とトラック１．５のワークショップを踏まえ、ASEAN 主導地域枠組みを最大限に活用するための具体的な取組について議論し、方向性を打ち出すことができました。今回の出張で、来月の首脳会議に向けて、本省と ASEAN 代表部の間で優先課題の基本方針を確認できたことも大変有意義でした。

模擬 EAS ガラディナー
（2025 年９月 14 日、於ジャカルタ市内ホテル）

●模擬 EAS

9 月 15 日～19 日には、ジャカルタで模擬東アジア首脳会議（Model EAS）が開催されました。ASEAN 財団が主催し、日豪中の３カ国が協力したものです。

2015 年の ASEAN 共同体発足を機に、ASEAN 財団は学生を対象に ASEAN 会議のロールプレイを行う「模擬 ASEAN（Model ASEAN）」を立ち上げました。日 ASEAN 友好協力 50 周年の 2023 年には、日本 ASEAN センターの協力で「模擬 ASEAN＋日本」が開催され、韓国、中国、豪州との間でも同様の会議が開催されています。

2025 年は EAS20 周年ということで、ASEAN 財団と日豪中を中心に、ASEAN 議長国マレーシアや ASEAN 財団運営委員会議長国ラオスと相談し、ASEAN 以外の EAS 参加国からの協力も得て、今回の開催に至りました。会議に加え、ガラディナーでの文化紹介や、開会式／ラウンドテーブル・豪大使公邸での朝食懇談会など ASEAN 代表部大使との対話の場も設けました。今回の 20 周年を機に、来年以降も模擬 EAS が開催できるようになることを期待しています。

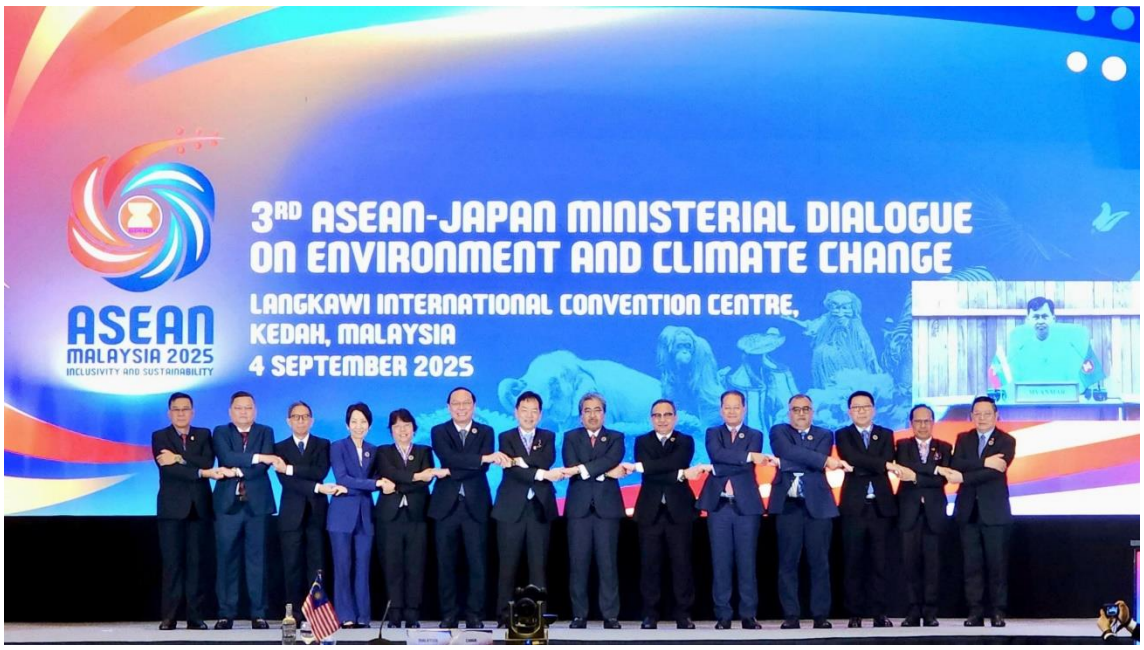
日 ASEAN ビジネスと人権ネットワークセッション
（2025 年 9 月 16 日、於バンコク、UNDP 提供）

●日 ASEAN ビジネスと人権ネットワークセッション

9 月 16 日には、バンコクでの「責任あるビジネスと人権フォーラム（アジア太平洋地域）2025」の一環として、UNDP と JETR アジア経済研究所とグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンと ASEAN 日本政府代表部の 4 者共催、日本政府の支援で「日 ASEAN ビジネスと人権ネットワークセッション」を開催しました。

ASEAN 政府間人権委員会（AICHR）議長国代表（マレーシア AICHR 代表）のプレゼンテーションや、ASEAN や日本の関係者によるパネルディスカッションなどが行われ、国連ビジネスと人権に関する指導原則（UNGPs）や関連する法律の実践に向けた関係者の理解促進、日 ASEAN ビジネス関係者の非公式ネットワーク作りなどについて議論が行われました。

私はオンラインで参加して、開会挨拶に加え、この分野での日本の政策や ASEAN との協力についてのプレゼンテーションも行いました。今回のネットワーキングセッションを機に、日 ASEAN 双方の関係者によるビジネスと人権分野での実践が深化することを期待しています。



日 ASEAN 環境気候変動大臣対話
（2025 年９月４日、於ランカウイ、ASEAN 事務局提供）

●日 ASEAN 環境気候変動大臣対話と日 ASEAN 越境犯罪大臣会合

このような行事と並行して、今月はマレーシア各地で日 ASEAN の閣僚級会合が多数開催されました。

９月２日～５日、浅尾慶一郎環境大臣はマレーシア・ランカウイに出張して、第３回日 ASEAN 環境気候変動閣僚級対話に出席しました。この対話では、2023 年に立ち上げた「日 ASEAN 気候環境戦略プログラム（SPACE）」を改訂して、日 ASEAN の環境気候変動分野における協力を更に深めていくことに合意しました。ASEAN＋3 環境大臣会合では、ASEAN 諸国と日中韓による ASEAN＋3 海洋プラスチックごみ協力アクションイニシアティブ等の取組の進捗についての意見交換を行いました。 カオ・キムホン ASEAN 事務局総長や各国閣僚等との会談も実施しました。

９月 11 日には、坂井学国家公安委員長がマレーシア・マラッカに出張して、ASEAN＋3 越境犯罪閣僚会議（AMMTC＋3）と日 ASEAN 越境犯罪閣僚会議（AMMTC＋日本）に出席しました。AMMTC＋3 では、人身取引、テロ、オンライン詐欺を含むサイバー犯罪等への対策について協議を行い、共同声明が採択されました。AMMTC＋日本では、ASEANAPOL によるオンライン詐欺対策に関する ASEAN の取組を日本政府として支援すべく調整中と説明し、ASEAN 側から歓迎されました。

日 ASEAN 経済大臣会合（AEM-METI）
（2025 年 9 月 24 日、於クアラルンプール、ASEAN 事務局提供）

●ASEAN 関連経済大臣会合

9 月 23 日～25 日、武藤容治経済産業大臣はマレーシアのクアラルンプールに出張して ASEAN＋3 経済大臣会合、日 ASEAN 経済大臣会合、RCEP 閣僚会合に出席し、会合に参加した各国閣僚と会談を行いました。

特に、日 ASEAN 経済大臣会合では、東アジア・ASEAN 経済研究センター（ERIA）から、日 ASEAN AI イノベーション共創ロードマップ、日 ASEAN 次世代自動車産業マスタープランの策定について発表がありました。武藤大臣からは、今後の方向性として、(1)サプライチェーンの自律性向上に向けた協力、(2)二つの ERIA の成果物を活かしたデジタル・脱炭素分野での協力、(3)ルールベースの自由貿易体制の維持・強化を表明し、ASEAN のサプライチェーン強靱化に貢献する決意を述べました。ASEAN 各国からは、特に自動車や AI の分野で日本の協力に感謝し、引き続き協力していきたい旨発言がありました。

RCEP 閣僚会合では、本年の共同議長国を務める武藤大臣から、地域における自由で公正なルールに基づく経済秩序の構築に向けて、協定の透明性のある履行や、RCEP を通じて貿易・投資面の新たな課題に対応する必要性を発言し、閣僚間で認識を共有しました。

CPR+3（2025 年９月 25 日、於 ASEAN 本部事務局）

●TAC 締約国会議、CPR＋３と EAS 成果文書交渉

ジャカルタでは、９月 18 日に第２回東南アジア友好協力条約（TAC）締約国会議、９月 25 日には ASEAN 常駐代表委員会（CPR）＋３がジャカルタの ASEAN 本部事務局で開催されました。私は日本代表として出席し、前者では来年の TAC50 周年行事に向けての取組や各国の立場、後者では 10 月下旬の ASEAN＋３首脳会議での段取りや成果文書の準備状況などを確認しました。

今月は、このような大使級の会合と並行して、EAS の成果文書交渉を主にオンラインの作業部会で精力的に進めています。EAS20 周年のクアラルンプール宣言、EAS 参加国から提案されたテーマ別の首脳声明など、各国とも代表部と本国の間で緊密に連絡を取りながら、段落・文言毎に一つ一つコンセンサスを得る作業を行っています。

10 月下旬にクアラルンプールで ASEAN 関連首脳会議、特に 20 周年記念の EAS 首脳会議を成功させるためには、このような準備作業の積み重ねが重要です。今後の模擬 EAS の発展も含めて大きな成果につながるよう、引き続き努力していきたいと思います。今後ともご支援、ご協力いただければ幸いです。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦